

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21



2026年3月3日(火) 発刊

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨Y.M.C.A.グローバルコミュニティセンター

☎055-235-8543 fax055-235-8553 Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	エドワード・オン(シンガポール)	「信念、愛、行動」 (Faith, Love, Action)
アジア太平洋地域会長	田上 正(熊本むさし)	「信念と愛を持って行動しよう！」 (Act now with faith and love!)
東日本区理事	山下 真(十勝)	「ワイズのらしさ再発見」 (Rediscovering Y's Uniqueness)
あずさ部部長	山口 直樹 (東京武蔵野多摩)	「垣根を低くし、活発な活動を」
甲府21クラブ会長	水越 正高	「35周年で育む会員の絆と、青少年の未来を創るクラブへ」 (Connecting the Next Generation)

甲府21ワイズメンズクラブ

2026年 3月会報

今月の強調テーマ

CS、GreenP
ワイズメネット

今
の
聖句

口語訳聖書(1954年版) ピリピ書 2:3

「何事も党派心や虚栄からするのでなく、へりくだった心をもって互に人を自分よりすぐれた者としなさい。」

選：松村 禎夫

3月 巻頭言



2025.9.27 富士山例会にて

「節目を未来へつなぐ歩みの中で」

甲府21ワイズメンズクラブ 会長 水越正高
春の訪れを感じる季節となりました。寒さの中にも少しずつ柔らかな陽ざしが差し込み、活動の中にも新しい流れを感じる時期となってきました。2月より、35周年の主題でもある「会員の絆を育む」ための企画が本格的に動き始めました。今年度、私たちは青少年育成を柱として、数多くのCS活動や体験型イベントを企画し、実行してまいりました。子どもたちやユースと共に過ごす時間は、私たちに多くの学びと気づきを与えてくれています。活動を続ける中では、準備や調整、予想外の課題など、多くの苦労や困難もありました。それでも

歩みを止めず活動を継続できているのは、ひとえに会員の皆さま一人ひとりのご尽力があってこそです。忙しい日常の中でも時間を作り、知恵を出し合い、支え合ってくださっていることに、改めて深い感謝の思いを抱いております。

青少年の未来を創る活動は、すぐに成果が見えるものではありません。しかし、子どもたちが体験を通して見せてくれる笑顔や、ユースが少しずつ成長していく姿は、確実に未来へつながる種が育っている証であると感じています。これからの青少年育成は、単に機会を提供するだけでなく、「体験を通して自ら考え、仲間と関わり、社会とつながる力」を育てることが、より重要になっていくのではないのでしょうか。

自然体験や文化体験、地域活動への参加など、多様な経験の積み重ねが、子どもたちの可能性を広げていきます。私たちクラブは、そうした成長を支える「出会い」と「体験」の場を創り続ける存在でありたいと考えています。

35周年という節目は、これまでの歩みを振り返る機会であると同時に、これからの活動をより充実させていくための大切な通過点でもあります。今年度の歩みはまだ道半ばではありますが、この一年を通して育まれてきた会員同士のつながりを大切にしながら、後半の活動へとつなげていきたいと考えております。

春は、新しい出会いと挑戦が始まる季節です。これからも仲間と共に歩みを重ねながら、青少年の未来につながる活動を積み重ねてまいりましょう。

2月 第1例会報告



書記 佐藤 利之

日時 2026年2月3日(火) 18:30～
会場 山梨YMCA

今年初めての山梨YMCAでの第一例会はゲストに東日本区から次々期理事の鈴木伊知郎様(宇都宮東)、現書記の榎本博様、あずさ部より山口部長、PHD協会の内堀様、研修生のピューピューさん、富士五湖クラブから尾崎様ご夫妻がご参加くださり総勢30名を超えるにぎやかな例会でした。

後藤ワイズの今月の聖句、一言は歴史の観点から非常に学びの深いお話でした。会長挨拶では子供とワイズが共に体験を創り、手間をかけて成長を支える関わりが大事とあらためて感じました。

次にPHD協会の活動についてお話いただきました。支援する、される立場ではなく一緒に人を育てて健康と平和を根付かせていく活動を行っておられ非常に興味深かったです。ピューピューさんのリアルなネパールでの生活も非常に新鮮でした。

ゲストの榎本様からは甲府21のお褒めの言葉をいただきましたが、新しい会員獲得と平均年齢についてのシビアな内容も忖度なしに伝えてくださり身が引き締められました。

最後は尾崎様にご自身の経験からくるとても楽しく前向きになれる卓話をいただきとても充実した例会になりました。

3月 第1例会プログラム

2025年3月3日(火) 18:30～
会場: 山梨YMCA 3階大澤英二記念ホール

- | | | |
|------------------|-------------------------|--------------|
| | 司会 | 佐藤利之
水越会長 |
| 1. 開会点鐘 | | |
| 2. ワイズソング・ワイズの信条 | | |
| | 奏楽 | 杉田博子ワイズ |
| 3. 今月の聖句 | | 松村禎夫 |
| 4. 会員ひと言 | | |
| 5. 会長挨拶 | | 水越会長 |
| 6. ハッピーバースデー | | |
| 7. ワイズディナー | | |
| 8. 卓話 | | |
| | 山梨いのちの電話 理事長 | 永井愛子様 |
| 9. 連絡事項 | | |
| | 9-1 ベビーカーコンサート | 4/11について |
| | 9-2 W4W(Week for Waste) | について |
| | 9-3 荻野次期会長基本方針説明 | |
| 10. YMCA報告・諸報告 | | |
| 11. YMCAの歌 | 奏楽 | 杉田博子ワイズ |
| 12. 閉会点鐘 | | 水越会長 |

山梨いのちの電話チャリティー映画会

35年目のラブレター

2026年3月8日(日)

山梨YMCA 大澤英二記念ホールベテル

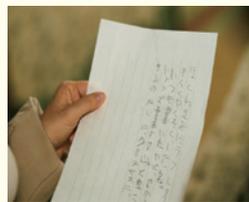
1回目 午前10時開場 10時半上映

入場料 1,000円

2回目 午後2時開場 2時半上映

心温まる感動の実話

読み書きができない
夫と幸せを教えてく
れた妻が歩んだ人生



©2025「35年目のラブレター」製作委員会

出演者 笑福亭鶴瓶 原田知世 重岡大毅 上白石萌音 徳永えり

ぎい子 辻本祐樹 本多力 江口のリ子 くわばたえり

笹野高史 安田順

監督・脚本 塚本連平

山梨いのちの電話事務局 055-225-1511

- 振込先「山梨いのちの電話」理事長 永井愛子
- ・郵便振替 00250-8-34938
- ・山梨中央銀行本店 普通 1736737

ペンリレー

「趣味とは？」

YMCA担当主事
平賀 佳雅



日頃、子どもたちの支援に関わる中で、私が大切にしていることがあります。それは将来の自立はもちろんですが、「余暇の過ごし方」を育むことです。好きなことを見つけて、頑張ったご褒美にそれを思いきり楽しむこと。「やりたいことがある！」という気持ちは、

日々の充実や働く力につながると感じています。ブリテンを拝見したり、皆さんのお話を聞いたりしていると、多趣味な方が多くて本当に素敵だなあといつも思います。趣味の話をし

ているときの皆さんはとてもいきいきしていて、その姿に刺激をもらっています。そんな中でふと、「あれ？私の趣味って何だろう？」と考えるようになりました。

子育て中は子ども中心の毎日で、自分のことは後回し。気づけば一日があっという間に終わる生活でした。子どもたちも独立し、今は一人で過ごす時間や主人とゆっくり話す時間が増えました。とはいえ休日は、仕事のスイッチをパチッと切って、最低限のことだけして、あとは映画を観たりしてのんびり。便利な時代なので、つい受け身の過ごし方になりがちです。

若い頃は家族でゴルフに行ったり、友だちと旅行に出かけたり、冬はスノーボードを楽しんだりしていました。最近はまたゴルフを再開したり、思い立って旅に出たり、家族公認の“家出”と称して一人温泉に行ったりもしています。少し勇気を出して新しいことにも挑戦してみようかな、とわくわくしている自分もいます。

Happy Birthday!

<3月の誕生者>

<敬称略>

<メ>

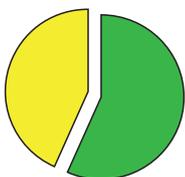
該当なし

<メネット>

赤池喜美子 3/31 葉袋けさみ 3/31



< 2月例会出席者 >



56.8%

会員数	44名
第一例会出席者	25名
ゲスト出席者	7名
メネット	名
総出席者数	32名
出席率(会員のみ)	56.8%

2月会計報告

会計 山口 了

[会計報告]

2026年 2月末現在



項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
2月の合計	29,840	0	29,840
2月末迄累計	183,119	100,000	283,119
達成率	73.2%	100%	80.9%

*2月のニコニコは全額 PHD協会へ寄附しました。

今後の予定

3月10日(火) 甲府・甲府やまなみ合同例会
18時半

3月14日(土)・15日(日)
次期クラブ会長研修会 東山荘

4月7日(火) 第1例会 18時半

4月11日(土) ベビーカーコンサート
開場 午前10時半 開演 午前11時(約50分)
会場 山梨YMCA 3階 大澤英二記念ホール
4月21日(火) 第2例会 18時半

第9回

ベビーカーコンサート

in 甲府

0歳からの親子で一緒に楽しむコンサート
会場内は「泣いても」「笑っても」「走り回っても」OK
子育て中のお母さん・お父さん 一緒に♪
入退場自由♪

70名
限定

2026年
4月11日(土)

- 会場 山梨YMCA 3階 大澤英二記念ホール ベテル
ベビーカーのままOK
- 開場 10:30 ●開演 11:00 *演奏時間 約50分
- 入場無料(要予約) ●駐車場有り ●おむつ替え・授乳室あり
- 演奏 音楽アンサンブル パルフェ

Parfait

～パルフェ～

パルフェは、フルーツ 植田理恵、ピアノ 藤本美香、
キーボード 大原美鶴の3人で活動している音楽ア
ンサンブルです。音楽を通してやさしい時間を多く
の方に過ごしていただきたいと願い、保育所・小学
校・施設・地域のイベント等でコンサート活動をし
ています



主催：甲府21ワイズメンズクラブ

協力：山梨YMCA

お申込は：<http://kofu21.com/baby2026spring/>

お問合せは：maruki-yoshinaga13@outlook.jp

携帯 090-6945-3194 (寺田) まで



お申込はこちら

大人な徘徊 第9話

ギリシャ (2018年9月16日～25日)



薬袋 勝



今回は、能率良く徘徊するために、各都市にある乗り降り自由の市内周遊2階建て観光バスや現地案内所をフルに使ってきました。財政的にゆとりがあれば、地中海クルーズで島々を巡りかけたのですが、クレタからミコノスまでの半日の船旅で諦めました。

▼歩行数 216,689 / 21,669 歩

▼歩行距離 1128/113Km 歩



市内中央にそびえるアポロン神殿 (アテネ)



赤絵壺 (アテネ博物館)



迷宮 (クレタ島)

日	徘徊場所	宿泊地
16-19	羽田、アテネ、コリントス	アテネ
20-21	アテネ、クレタ	クレタ
22	クレタ、ミコノス	ミコノス
23	デロス、ピレウス	ピレウス
24-25	ピレウス、アテネ、ドバイ	機内

ギリシャ神話や古美術が好きな私にとって、長年の懸案であるギリシャ訪問がやっと叶えられた徘徊計画でした。アテネのど真ん中にあるアクロポリスを含めた遺跡と考古博物館、ミノア美術や迷宮で有名なクレタ島、白い家や風車が印象的なミコノス島そして島全体が遺跡のデロス島等沢山の徘徊場所が待っていました。

ギリシャやエジプト等の古代美術品のコレクションと系統的な紹介は、ロンドンの大英博物館を始めとする大博物館で簡単に観られるのですが、壮大な遺跡と一緒に見る事が出来ないと言う、旧宗主国や大国が力と金で収集した歴史的矛盾があることを感じました。以前、大英博物館で感じた腹ただしさと怒りは、この事が由来していると思われます。まだまだこの歴史的矛盾は、続くのでしょうか？幸いの事に、遺跡本体は、移動不可能であった為、古代文化発祥の現地で見る事ができます。

◆YMCA便り◆

「こどもの声に耳を傾けて」

総主事 中田 純子

先月2月27日、いじめ防止を訴える「ピンクシャツデー」のパレードを実施し、チャイルドケアの利用児童約40名が甲府市長、甲府市教育長へ表敬訪問を行いました。ピンク色のシャツや手作り小物を身に着けたこどもたちは自分たちで考えたテーマである「たいせつなじぶん・たいせつなあなた」と共に、いじめのない社会を願うメッセージを発信しました。ワイズメンズクラブの方々のご参加もあり、とても心強くこどもの声が少しずつ波及していることに感謝いたします。また、当日の様子をUTY（テレビ山梨）の番組「すごろく」で、活動が紹介されました。運動体であるYMCAの活動が多くの方々にも周知されることはこどもの声が届く第一歩であると考え喜ばしいことであったと思います。

また、3月にはフリースクール「わいわいクラブ」がいよいよ開所いたします。「学校に行きづらいな…」と感じている子どもたちの声に耳を傾け、第3の居場所として地域の課題とニーズに添えていこうと思います。これは単なる不登校支援にとどまらず、大きな社会課題があると考え取り組みたいと考えております。

子どもたちは大切な命を与えられ、この世に生まれてきたひとりひとりです。人間が誕生し最初に泣くことから始まり、全てにおいて初めての「できた」を重ね、共に喜びの時のはずです。この喜びこそが子育てそのものなのです。

山梨YMCAには、心と体の体験活動を育む場所があふれ、心と体の両面にわたる豊かな体験活動の提供が可能です。山梨の豊かな自然「銀河鉄道の森」の中で、挑戦と達成感を味わう「自然体験」、地域活動やボランティアを通じて、他者への思いやりを育む「社会貢献活動」、音楽や芸術を通じて、創造性と自

己表現力を高める「芸術体験」、乳幼児や高齢者との交流を通じて、コミュニケーション能力と共感性を養う「多世代交流」。これらの体験の中には、子どもたちの心に深く刻まれ、感動、湧き上がる喜び、大声で叫びたくなるあの一瞬の気持ちを体験できる時こそ彼らの大きな糧となるのです。ここには、将来の糧となる場所が多くあります。また、ここ山梨YMCAは、0歳から一生涯まで幅広い世代をつなぐ環境を有しています。この強みを活かし、フリースクールの子どもたちに多様な交流と体験の機会を提供します。保育園、学童保育や放課後等デイサービス、高齢者との連携により、子どもたちは様々な年代の人々と関わり、社会性を育みながら、自分の居場所と将来の可能性を見出すことができるでしょう。

不登校は大人が作り上げた言葉であって、大事なことは、ここに隠された子どもたちからのメッセージです。その声に耳を傾け、一人ひとりの子どもが自分らしく成長できる居場所を提供します。心と体の豊かな体験を通じて、子どもたちが自信を持ち、輝かしい未来を切り拓く力を育んでいけることを目指します。

ぜひ、ワイズメンズクラブの皆さんとの協力体制を深め、地域社会の課題解決に向けて共に歩むことを希望いたします。これからも、子どもたちの笑顔のために、地域のために、山梨YMCAは全力で活動していきますのでご協力をお願いいたします。

